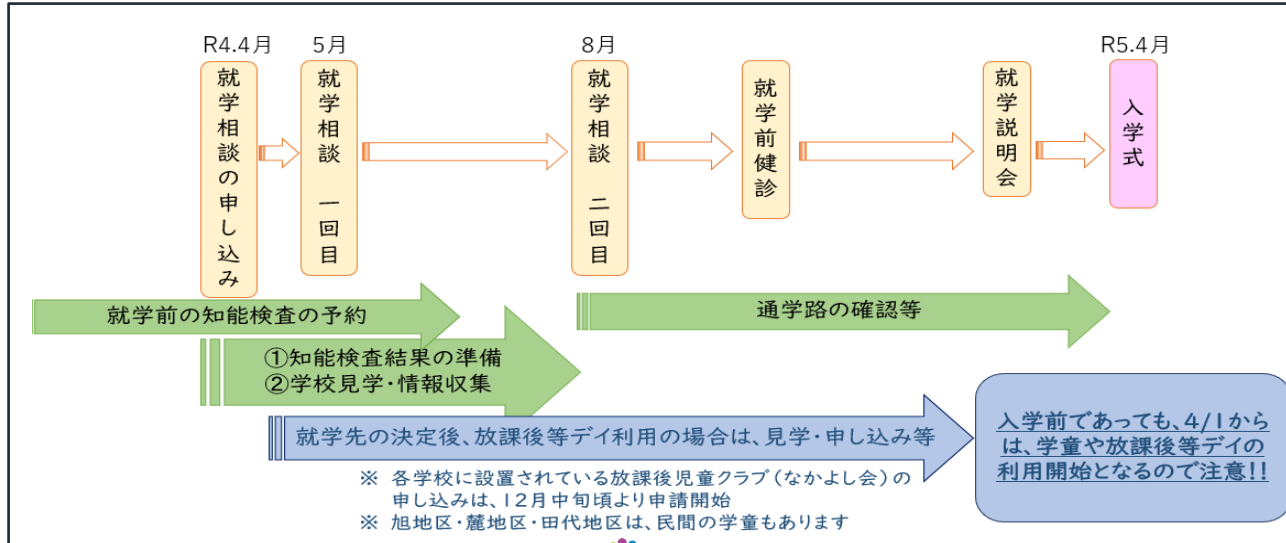




いよいよ来年は年長さん。佐賀県では、年長の4月頃から就学に向けての準備がスタートします。小学校生活が、「楽しく遊び学び・過ごす為の場」となる為に、1年かけて色々と準備をしていかなければなりません。今回は、流れや利用できる支援等についてお知らせします。お住まいの地域が、どこの小学校校区になるのかご存じない方は、確認をお願いします。



就学相談(鳥栖市)

「人との関わりが苦手」「言葉が遅い」「発音が苦手」

「人前で話す事が苦手」「どもりがある」「落ち着きがない」

等の理由で、小学校に入学する際、支援や教育環境の調整が子どもにとって必要なかを相談する場です。特別な支援を希望する場合や利用を迷っている場合、就学に不安がある場合に参加します。

特別な支援には、①通級、②支援クラス、③支援学校があります。

R2年度 4月・・・1回目就学相談申し込み(在籍園より案内配布)

5月・・・1回目の就学相談 8月・・・2回目の就学相談

※知能検査結果(1年以内)持参をお勧めします。検査結果がない場合や予定がない場合は、かかりつけの病院に「就学前の知能検査の予約」をお願いします。また、支援を受けるには医師による診断が必要です。診断が無く支援の利用をご希望される場合は、受診の際に主治医へ「支援クラスの利用希望」をお伝えして下さい。

参考:特別支援学級及び通級指導教室担当の為の手引き(佐賀県)

※佐賀県の場合、下記①～③の利用には医師による診断が必要です。

①通級とは(通級指導教室)

※一部の小学校に設置されています。校区内の小学校に設置されていない場合は、近隣の小学校まで保護者送迎が必要です。

「1週間に〇時間」等、利用可能な時間も決まっています。

各教科等の指導は通常の学級で行いつつ、障害に応じた特別の指導を特別の指導の場で行うというものです。

通常の学級での学習におおむね参加でき、一部特別な指導必要とする程度の場合。ただし、知的障害のある児童は含みません。

②支援クラス(特別支援学級)とは

※全ての小学校に設置されています。

特別支援学校に比べ、比較的、障害の程度が軽いが、通常の学級における指導では、十分に指導の効果を上げることが困難な児童生徒一人一人の障害の状態に応じ、小・中・義務教育学校において設置される少人数の学級です。

③支援学校とは

※鳥栖は、田代小学校内に田代分校が設置されています。

支援クラスよりも、さらに特別な支援が必要な場合、より少人数クラスとなる為、手厚い支援を受ける事ができます。

知能検査

就学相談時に持参すると、検査結果を踏まえた上で、相談が可能です。本人も一緒に就学相談へ参加しますが、限られた時間内で本人を把握するよりも、客観的に検討する事が出来る為、検査結果はできるだけ持参できるように準備しましょう。検査をご希望される場合は、発達検査等でお世話になっている病院へ「就学前の検査希望」とお伝えください。

学校見学

見学を希望される場合は、就学相談時か園を通して見学の申し込みをお願いします(直接学校等にご連絡する事は避けて頂きますようお願いいたします)。実際の普通クラスや支援クラス、通級クラス等の見学が可能です。事前に聞きたい事をまとめておきましょう。

放課後等デイサービス

小学校になると、現在利用している「児童発達支援」のサービスが終了し、「放課後等デイサービス」となります。学校終了後、放課後等デイが学校へお迎えへ行き、数時間過ごしたのち、ご自宅へ送迎している場合もあります。鳥栖地区にも、様々な特徴ある放課後等デイサービスがある為、ご利用を検討される場合は、担当の相談支援員さんへ「放課後等デイサービスの利用希望」とお伝えください。

1回目の就学相談

就学に不安がある方が相談会へ参加します。相談後、支援の有無、どの支援を利用するのが決定した場合は、2回目の就学相談を受ける必要はありません。

2回目の就学相談

1回目の就学相談へ参加したものの、まだ、支援の有無やどのような支援を受けるのか、迷われている場合に参加します。参加には、1回目同様事前申し込みが必要です。最終的には10月～11月頃までに決定する必要があります。

### 1. 制服か私服か

→制服の場合、ボタンの大きさやベルト等の有無は？

ブラウスのボタンは小さい事が多く、また、ズボンにズレ防止のベルト等を利用する場合は、練習が必要な場合があります。

### 2. 登校は？

→集団登校か個人登校か(登校時・下校時)

### 3. トイレは洋式？和式？

→鳥栖市は、男の子もすべて個室・洋式のみ学校もあります。必要に応じて、鍵の開閉だけでなく、汚してしまった場合や汚れていた場合にきれいに拭く練習が必要となります(実際の洋式小学校の場合、便座が汚れている事も多いようです)

### 4. 学校敷地内にある放課後児童クラブ(学童)利用を検討する場合

→学童の見学の有無

1日の中で学童と放課後等デイサービスの両方を利用する場合(学童→放デイ→学童)

→併用可能かどうかの確認

### 5. 支援クラスの種類を把握する

→支援クラスにも色々な種類があります。

①知的クラス ②情緒クラス ③難聴クラス ④病弱クラス 等です。診断名によりどのクラスが利用可能か決まりますが、診断が複数ある場合は、どのクラスにするのか選択する事ができます。また、利用したくても③の難聴クラスや④の病弱クラスは利用者がいない場合は無い場合もあります。どのクラスが現時点であるのか必要に応じて聞いておきましょう。

### 6. 放課後等デイを利用される場合

→出入りしている放課後等デイを聞いておきましょう。放課後等デイも増加していますが、利用希望者が多く希望日に利用できない事も多々です。多くの放課後等デイが小学校へお迎えにくる為、送迎範囲が決まっています。入学予定の学校にどこの放課後等デイが出入りしていかが把握しておく事もポイントです。

## 最後に・・・(つぶやき)

就学相談、学校見学等の結果、どのような支援でいくかを決定する事になります。どこを優先するのか、何を学校に求めるかによって利用する支援が異なってきます。

毎年、多くの方が迷われます。可能な限りお一人ではなく、ご家族での学校見学、相談会への参加をお勧めします。また、担当者会議等を開催する事も可能です。必要な場合は相談支援員さんへご相談ください。